

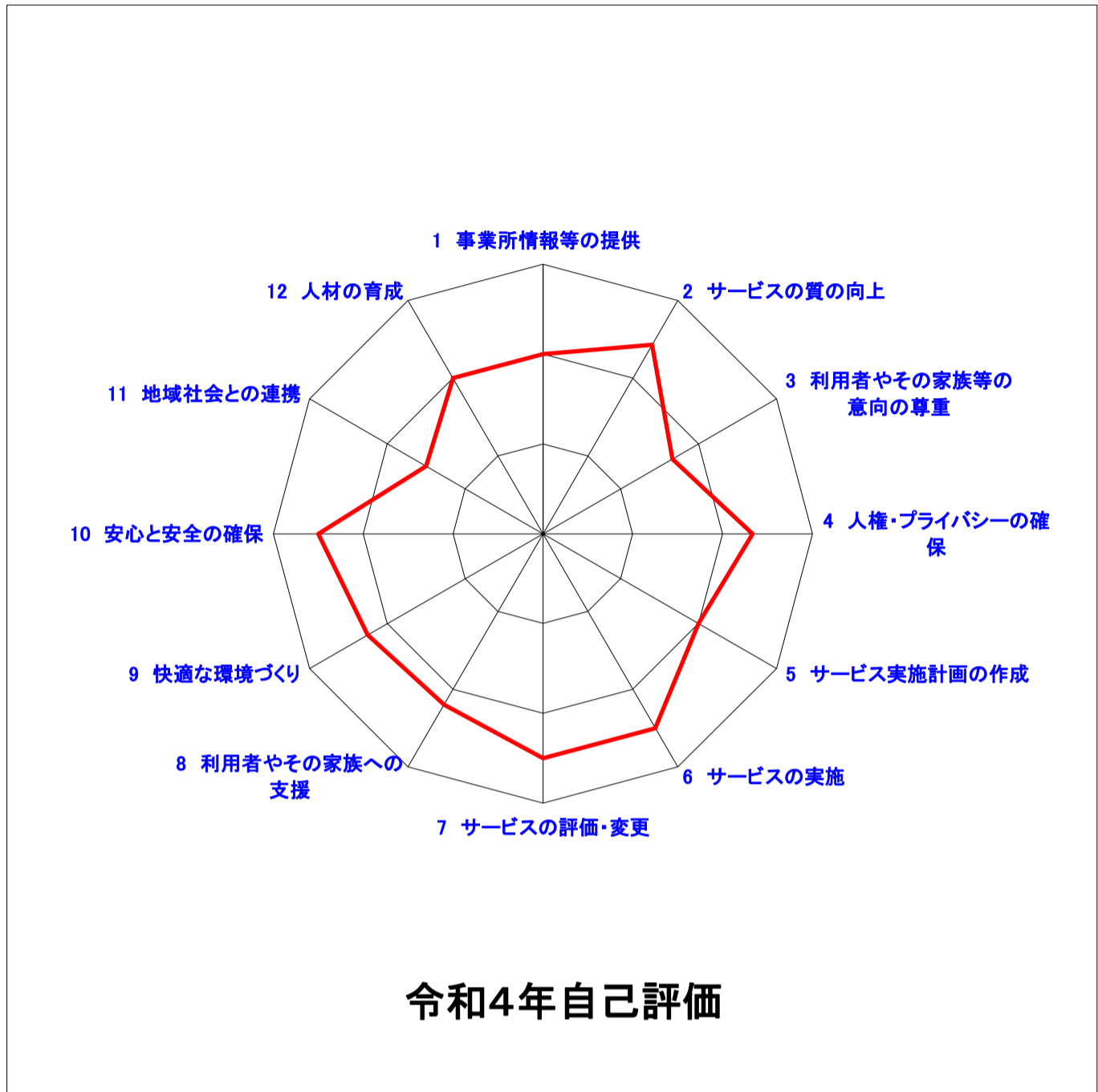


小規模多機能居宅介護なごみ

(事業者番号: 1292600200)

小規模多機能型居宅介護

事業者名 社会福祉法人愛生会
事業所名 小規模多機能居宅介護なごみ
サービス名 小規模多機能型居宅介護
評価委員構成 センター長: 園田健二 副主任: 戸田大樹、松原真理 (両名とも介護福祉士) 介護支援専門員: 中嶋智
評価手順 各自自己評価シートに記載してもらった後に、自己評価委員会にて評価実施 令和5年1月22日 評価シート配布 令和5年1月28日 自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和5年1月28日
評価責任者 役職名 センター長
評価責任者 氏名 園田健二



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 職員へは毎年度初めに計画の発表、資料配布を行っている。			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記 コロナ禍以降、外部研修や内部での集合研修実施が難しくなっており、研修方法の見直しが必要となっている。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記 苦情解決に関して第三者委員に参加を求める事例がなかったが、第三者委員会の設置自体はされている。			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記 個人情報保護や身体拘束廃止は、契約書に明記の上、説明を行った後の契約としている。			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記 定期のカンファレンス以外に随時ケアマネを中心とした話し合いを実施している。			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記 マニュアルが実態に即していない面もあるので、見直しをしていく			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			

サービスの適切な実施

8 利用者やその家族等への支援

サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
余暇活動や生きがいがづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C

「利用者やその家族への支援」に関する特記

可能な限りご家族の介護参加をお願いしている。

9 快適な環境づくり

快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C

「快適な環境づくり」に関する特記

地域交流委員会を設置しているが、コロナ禍ということもあり、活動が停滞している⇒4

10 安心と安全の確保

事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C

「安心と安全の確保」に関する特記

受診の援助に関しては、基本的にはご家族に依頼しており、緊急時やリフト付き車が必要な時になごみで対応している。

地域等との連携

11 地域社会との連携

事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C

「地域社会との連携」に関する特記

自事業所だけで解決しようとしてしまう傾向にあるので、社会資源活用への視点切り替えが必要と感じる。

12 人材の育成

実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
---------------------	---	---	---

「人材の育成」に関する特記

実習からの就労に繋がったケースもあり、積極的な受け入れを継続していく。

総評

小規模多機能事業所として様々なニーズに応じていかなくてはならないが、ある程度年数が経つにつれ、固定パターンができてしまい、その枠に収まらないニーズへの柔軟な対応が弱くなっている。職員数の確保だけにとどまらず、新たな視点でのサービス提供や社会資源を活用し、他機関と協力したサービス提供体制をより充実させていく時期であると、自己評価を通じて感じる事ができた。